

# とまこまい 市議会だより

第12回 定例会を開催いたしました

(平成29年9月7日(木)～15日(金))

平成28年度一般・企業会計決算審査特別委員会を開催いたしました

(平成29年10月3日(火)～4日(水)・10日(火)～11日(水))

## 第20号

平成29年12月1日発行

### 第2回

## 市議会だよりフリートーク

平成29年11月14日(コトヤマ(表町))にて開催



フリートークの内容は次号に掲載いたします  
参加者／苫小牧高専・苫小牧東高校・苫小牧工業高校・明るい選挙推進協議会

■ 編集・発行・お問合せ先

苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

検索は

苫小牧市議会

検索





6月議会で同日選挙実施の賛否について結論を9月議会に持ち越しました。



議会改革検討会の様子

同日選挙について  
【経緯】 苫小牧市は市長選挙と市議会議員選挙を統一地方選挙により実施してきましたが、平成18年5月、当時の市長が任期中で辞任したことにより、「ずれ」が生じました。  
第5回定例会(平成28年2月)に市民団体から選挙費用削減などの理由から、市長選挙・市議会議員補欠選挙(平成30年7月予定)時に、市議会を解散し市議会議員選挙を実施しようという陳情があり、議会は趣旨採択と決定しました。

議会改革検討会では、同日選挙実施の賛否と、議会基本条例の制定に向けた協議が行われました。

## 市長と市議会議員の同日選挙に結論

【結論】 同日選挙にあたっては、議員26人中、賛成17人、反対9人で議会の議決(議員26人中、21人以上の賛成で可決)による解散をせず、公職選挙法に基づいて施行される補欠選挙とするという結論になりました。今後必要に応じて、国などへの要望意見書提出については、代表者会議で協議することになりました。

【賛成意見】  
● 市民の税金が約4千万円削減され節約につながる。  
● 同日選挙を実施することで市民の関心が高まり、投票率の向上が期待できる。

● 市長選挙と同時に市議会議員2名の補欠選挙が行われるので絶好のチャンスである。  
【反対意見】  
● 4年の任期負託は重いもの、全うするのが責務である。  
● 地方自治体の議会は2元代表制で運営されているので解散の必要はない。

● 今後、市長の辞職に合わせ議会の解散を問われることになる。

### 議会基本条例制定について

議会基本条例の前文については、正副議長案を示し、また、体系図について、小田原市の議会基本条例を参考に、各会派代表による意見交換をしました。

今回の議会改革検討会では前文について引き続き正副議長案を示し、体系図については、各会派に持ちかえって、協議することになりました。

会派名	議 員 名	賛成	反対
緑 風	竹田秀泰・板谷良久・岩田典一・木村 司・矢嶋 翼	2	3
公明党議員団	大西厚子・神山哲太郎・藤田広美・池田謙次・林 光仁	5	
日本共産党市議団	工藤良一・小野寺幸恵・富岡 隆・渡辺 満		4
民進党・市民連合	岩田 薫・松尾省勝・西野茂樹・小山征三	4	
改革フォーラム	牧田俊之・首藤孝治・越川慶一・松井雅宏	4	
会派市民	桜井 忠・谷川芳一		2
陽 春	宇多春美・金澤 俊	2	
	合計(人)	17	9

※各会派の議員名は議席順です。

第12回定例会 9月7日(木)～15日(金)

## 北朝鮮によるミサイル発射及び核実験の強行に抗議する決議を採択!

平成28年度 一般・企業会計決算審査特別委員会で

予算の執行状況などが質疑されました (内容は各決算委員会、会派記事を参照願います)

### 平成29年度 苫小牧市一般会計補正予算(第2回)

平成29年度歳入歳出の総額に  
3億2,605万5千円を追加し  
歳入歳出の総額を  
765億723万円としました

注目の

#### ふるさと納税普及事業費

ふるさと納税制度が広く周知が進み、寄付金収入が堅調に伸びています(5,000万円→約1億1,000万円)。そのため、返礼品に係る委託料の支出を当初見込んでいた2,500万円から5,500万円に修正するものです。

#### 庁舎東側勾配緩和工事をを行います

予算の一部を活用し整備します

市庁舎東側入り口前の身体障がい者用駐車場は、車椅子利用者から、駐車場の勾配がきつく、車が傾くため、ドアが閉じてしまうなどの声が寄せられており、改善することが決まりました。

### 主な補正予算等

事業名	予 算 額	事業概要
庁舎管理経費	464万4千円	庁舎東側駐車場勾配緩和工事
ふるさと納税普及事業費	3,000万円	ふるさと納税の返礼品に係る委託料
植苗星ヶ丘12号線(仮称)道路測量業務、実施設計業務	850万円	米軍再編関連訓練移転等交付金を活用して道路整備に係る調査等
勇払5号公園整備事業費	3,000万円	米軍再編関連訓練移転等交付金を活用して公園整備
指定管理施設債務負担行為 30年度(2018年度)～34年度(2022年度)	8億232万円	緑ヶ丘公園運動施設(公募)による業務管理

#### ■ 契約の締結

(仮称) 沼ノ端鉄北地区  
複合施設新築主体工事  
9億4,716万円



完成予想図

#### ■ 動産の取得

散水車  
3,196万8千円



凍結防止剤散布車のイメージ図

#### ■ 苫小牧市教育委員会委員の任命について

佐藤守氏が平成29年11月21日をもって任期満了し新たに齋藤智子氏が後任として決定しました

## 議会だよりに関するアンケートのご協力をお願いします!



編集委員会では市民のみなさんにイベントなどで直接アンケートをお願いしております。今後の予定は、成人式・スケートまつりなどです。また、市議会のホームページでもアンケートができます。期間は12月1日(金)より27日(水)までとなっています。下記のアドレスからお入りください

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gikai/>





常任委員会

緑跨線橋架け替え工事に伴い  
バス路線が変更  
総務委員会

富岡 隆 委員長

国道276号緑跨線橋架け替え工事に伴い全面通行止めになるため、道南バスと協議を行い路線バスのルートを変更することが示されました。具体的には、永福三条線、市立病院港町循環線を含む11路線が対象となっております。通行止めは12月の予定ですがバス利用者に対し路線の変更については丁寧に対応すると説明がありました。

今回の緑跨線橋の工事に伴い迂回路に国道36号中野跨線橋や旭大通りアンダーパスを経由することになり、所要時間3分、最大10分程度長くなる予定です。



緑跨線橋完成予想図

公衆浴場の存続  
利便性向上を議論  
厚生委員会

松尾 省勝 委員長

所管事項の公衆浴場(富美の湯)の廃業による利用者対応策については、利用者から利用頻度や自宅の浴室有・無、交通手段などを把握するアンケート調査を行った結果が報告され、存続への対応について議論しました。



富美の湯

今後は、改装などを経て、札幌市の事業者が公衆浴場を継承し、12月中旬をめどに再開される方向性が示されました。

また、利用者への交通費一部助成について提案があり、市側はバスカードの助成のほか、自宅からの距離換算によるガソリン代の支給を前向きに検討し対応を図ると答弁がありました。

文教経済委員会

宇多 春美 委員長

「ウトナイ中学校」ウトナイ地区の子ども達への願いを継承し、小・中9年間の確かな成長を目指すとともに、地域コミュニティの中心としての役割を担う学校として命名されました。



苫小牧市立ウトナイ中学校完成予想図

観光振興ビジョン推進事業では、観光PR推進事業として外国人観光客受入整備事業(Wi-Fi整備)・外国人観光客向けパンフレット作成(英語・中国語・韓国語を作成、観光案内所に設置)など13事業の進捗状況を確認しました。

苫小牧東小学校及び苫小牧東中学校改築計画(案)については、避難所機能(3階・屋上が機能・併設校としての連携の充実(小・中交流授業、若草小を含む教員連携エリア会議など)・小中一貫教育の取り組みなどが質疑されました。

道路維持管理に  
ドローンを活用！  
建設委員会

越川 慶一 委員長

市はこれまで、大雨などにより災害の発生が予想される箇所については、道路パトロールなど目視による調査・点検を行ってききましたが、今年度からは、ドローンを導入することで、海岸部の調査や急傾斜地の平常時における状況調査、災害発生時の迅速な状況把握、橋梁や道路照明・標識の点検、建物調査・点検、不法投棄の状況把握などに活用していきます。



ドローン

また、下水道事業においては、その役割や必要性・重要性など、広く理解を深めていただくため、平成29年4月から8月末までに累計5,234枚のマンホールカードを無料配布しています。今後は、このカード収集にあわせた観光活性化への相乗効果も期待されます。

特別委員会

苫小牧港「ヒアリ」発見されず  
— 国の第1回調査結果  
総合開発特別委員会

林 光仁 委員長

所管事項は8件あり、米軍機訓練関連や統合型リゾート(IR)について質疑が交わされ、「ヒアリ」の調査結果などについても報告がありました。その中で、陸上自衛隊と米海兵隊との実動訓練に際し、オスプレイが苫小牧の市街地上空を低空飛行されたのではとの市民からの問い合わせに対し、市側は迅速に対応した報告について質疑がありました。

「特定外来生物ヒアリ」に関する調査では、環境省・国土交通省から、8月中旬に行われた苫小牧港での調査では発見されなかったことが公表されました。なお全国的には、広島港・清水港から「ヒアリ」の発見が報告されました。今回を除き10月まであと2回の調査が予定されています。



ヒアリ  
出展：環境省ホームページ

苫小牧市総合防災訓練  
開催される  
安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

岩田 薫 委員長

9月2日に実施された総合防災訓練(実動訓練)、災害時応援協定の締結(仮称)苫小牧市民ホール建設基本計画の3件について質疑が交わされました。



総合防災訓練の様子

総合防災訓練では、福祉避難所や、本部体制などについて質疑がありました。

市側は、検証作業を行い、2年後の訓練に生かすとの答弁がありました。

災害時応援協定では、新たに3件の災害時の物資提供について、協定を結んだことが報告されました。市民ホール建設(2024年度開設予定)について候補地の比較作業を行うことにより、建設地が東小学校敷地内に決定したとの報告があり、年度内に基本計画を策定するとの答弁がありました。

平成28年度決算審査特別委員会

一般会計

西野 茂樹 委員長

一般会計決算審査の質疑は、延べ35名の質問者により質疑が行われました。質問項目は全体で64項目となり、さらに一問一答方式による質問回数はすべての項目を合わせ373回となりました。また、この中で、提案型の質問は69点というものでありました。

決算審査は、予算や事業の有効性や課題をチェックすることを併せ、その改善点を踏まえた今後の政策提案、事業提案が必要であります。一問一答方式の質疑で市民にわかりやすい審査となったと考えております。

一般 会 計	委員 長	委員 副	委員 員
樹 泰久	西 野 茂	○ 板 谷 良	○ 神 山 哲
久 一忠	田 秀 良	○ 工 藤 井	○ 桜 池 林
次 仁俊	谷 良 良	○ 金 澤 川	○ 越 富 岡
一 隆三	山 良 謙	○ 小 山 征	

(○印は理事)

企業会計

矢嶋 翼 委員長

企業会計決算審査では、国民健康保険・霊園事業・介護保険・後期高齢者医療・上下水道・市立病院・公設卸売市場の各事業について審査されました。

質疑では、霊園の管理、共同墓、認知症対策、緊急貯水槽の設置、大雨対策3か年事業、市立病院新改革プラン、地域包括ケア病棟、市場の衛生管理など数多くの項目について、延べ40名の質問者により386回の質疑が交わされ、慎重審査の結果、全会派一致により各会計が認定されました。

企 業 会 計	委員 長	委員 副	委員 員
翼 治一	矢 嶋 孝	○ 首 岩 大	○ 牧 小
一 子美	藤 典 厚	○ 宇 多 幸	○ 野 寺 田
美 之惠	田 西 多	○ 牧 小	○ 岩 松 尾
薫 勝一	田 西 多	○ 牧 小	○ 岩 松 尾

(○印は理事)







# 民進党・市民連合


代表 西野 茂樹 ・ 副代表 小山 征三  
幹事長 松尾 省勝 ・ 副幹事長 岩田 薫

★IR誘致を質疑  
国が示したギャンブル依存症について市の評価など見解を求めました。また、市の対策の是非についても姿勢をただしました。  
市側は、課題を整理し検討をしたいむねを示しました。

★駒澤大学の「認可保留」を質疑  
予定をしていた8月での「経営移管」の認可が保留となっている事態について、その理由と今後の見通しなど14項目の課題や問題点について市の見解を求めました。  
市側は、学生募集の開始時期を考えば認可は10月、遅くとも年内の期待を示しました。  
また、今後は、議会にしっかりとした説明と情報提供を行うことを約束しました。

一般質問(西野茂樹議員)

1 駒澤大学について  
2 IR(統合型リゾート)誘致について  
3 市立病院  
(1) 医師確保について



西野 茂樹 議員

★民間業者より低い委託料  
広報ととまこまいの配布業務について、市は民間委託で経費を安くできると試算していましたが、現実には町内会に年間1世帯136円、民間業者には259円で委託している現状を指摘しました。  
25年度から、委託先を選べるようにした結果、町内会による配布は年々減少し、29年度には86町内会のうち46町内会(53%)が民間委託しています。3年前と比較すると、年間200万円のコスト増となっています。  
市側は、地域コミュニティの活性化も重視しており、今後、町内会や業者の話聞いた上、委託料を改めて検証するとしました。

★松尾省勝議員の質疑  
地域包括ケアシステムの構築を目指す市側は、在宅医療と介護を一体的に提供するために医療機関と介護事業所などの関係者の連携を目的とした上で、連携の不十分さや推進するための資源不足との認識を示しました。  
また、事業を展開するための組織体制の強化や包括ケアシステムの構築については、どのような体制が効果的か今後部局間協議をすると答弁がありました。

一般質問(小山征三議員)

1 政治姿勢  
(1) 核兵器禁止条約について  
(2) 市長公約について  
(3) 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業について  
2 災害・事故発生時の官民連携について  
3 避難行動要支援者  
避難支援計画と個人情報保護について  
4 公共施設におけるLPガスの採用について



小山 征三 議員  
http://www.tomakomai.or.jp/koyama/



★岩田薫議員の質疑  
後期高齢者医療特別会計では、28年度新たに行った歯科健康診査は、1,436人が受診され、受診率は、7.76%にとどまりましたが、全道的な受診率では、2.32%と苦小牧市がトップであることが報告されました。検診内容や、効果をさらにPRする取り組みを求めました。  
★水道事業会計では、給水人口や給水量が過去5年間をみると減少傾向にあることや、27年度の業務用水道料金体系の見直しにより約2千万円の収入減となることが明らかになりました。また、29年度終了する水道ビジョンでは、概ね予定通りの事業展開ができたことから、次期策定時には、これまで多くの先輩達が培ってきた技術の継承を重点化していくことを求めました。

★岩田薫議員の質疑  
後期高齢者医療特別会計では、28年度新たに行った歯科健康診査は、1,436人が受診され、受診率は、7.76%にとどまりましたが、全道的な受診率では、2.32%と苦小牧市がトップであることが報告されました。検診内容や、効果をさらにPRする取り組みを求めました。  
★水道事業会計では、給水人口や給水量が過去5年間をみると減少傾向にあることや、27年度の業務用水道料金体系の見直しにより約2千万円の収入減となることが明らかになりました。また、29年度終了する水道ビジョンでは、概ね予定通りの事業展開ができたことから、次期策定時には、これまで多くの先輩達が培ってきた技術の継承を重点化していくことを求めました。



★岩田薫議員の質疑  
後期高齢者医療特別会計では、28年度新たに行った歯科健康診査は、1,436人が受診され、受診率は、7.76%にとどまりましたが、全道的な受診率では、2.32%と苦小牧市がトップであることが報告されました。検診内容や、効果をさらにPRする取り組みを求めました。  
★水道事業会計では、給水人口や給水量が過去5年間をみると減少傾向にあることや、27年度の業務用水道料金体系の見直しにより約2千万円の収入減となることが明らかになりました。また、29年度終了する水道ビジョンでは、概ね予定通りの事業展開ができたことから、次期策定時には、これまで多くの先輩達が培ってきた技術の継承を重点化していくことを求めました。

★岩田薫議員の質疑  
後期高齢者医療特別会計では、28年度新たに行った歯科健康診査は、1,436人が受診され、受診率は、7.76%にとどまりましたが、全道的な受診率では、2.32%と苦小牧市がトップであることが報告されました。検診内容や、効果をさらにPRする取り組みを求めました。  
★水道事業会計では、給水人口や給水量が過去5年間をみると減少傾向にあることや、27年度の業務用水道料金体系の見直しにより約2千万円の収入減となることが明らかになりました。また、29年度終了する水道ビジョンでは、概ね予定通りの事業展開ができたことから、次期策定時には、これまで多くの先輩達が培ってきた技術の継承を重点化していくことを求めました。

# 日本共産党市議団

小野寺幸恵 ・ 渡辺 満隆  
工藤 良一 ・ 富岡 隆

▼核兵器禁止条約について  
122カ国が賛同して採択した核兵器禁止条約に日本政府が参加していないことについて、非核平和都市条例を持つ市長の認識を求めました。市長として、「国の立場」などを説明し、現実的にできることを進めていきたいと答弁しました。

▼IRについて  
世論調査で反対が多数であることや、保育関係者・町内会長・宗教者などの反対の声を紹介し、IR誘致の再考を求めました。市長は、「市民セミナーなどで理解を深めたい」と答弁しました。  
また、市民アンケートを実施することを提案しましたが、市民セミナーや出前講座を優先して取り組むとの答弁がありました。

▼放置波消しブロッコについて  
日本共産党市議団は、平成13年頃から錦岡海岸に放置されている波消しブロッコについて、平成26年10月から繰り返し所有者を特定し、有効活用を求めてきましたが、国・道は存在を把握しておらず、調査が進められていません。あらためて調査の進捗を質問しました。この波消しブロッコは道の所有であり、海岸侵食箇所への活用を検討しているとの答弁がありました。

一般質問 富岡 隆 議員

▼苦小牧駒澤大学について  
京都育英館への移管問題で、文部科学省の認可が保留になったことについて市長の見解を求めました。市長は、「非常に残念」との認識を示し、在学生の立場を守り、積極的に協力したいと答弁がありました。




▼歩くスキートの推進について  
冬季の健康増進観点から、アルペンや緑ヶ丘公園を活用し、歩くスキーの推進と用具のレンタルを提案しました。担当部長は、「現状でもアルペンや緑ヶ丘公園で楽しんでいる方たちがおり、現状での活用をお願いしたい」と答弁されました。歩くスキーの用具のレンタルについては、指定管理者と協議・検討すると答弁がありました。

▼児童相談所分室設置について  
虐待の通報が27年との比較で223件から290件に、虐待認定が127件から221件と増えている実態を示し、「苦小牧の相談件数が圧倒的に待ったなし」と、旧道立病院を活用して児童相談所分室を設置することを強く求めました。市長は、「議員と同じ思いである」と答弁し、29年度中に方向性を

▼オスプレイの訓練などについて  
北海道大演習(恵庭市)での日米共同訓練で、オスプレイが苦小牧上空を何度か飛行したことについて、市長の姿勢をただし、防衛省への抗議を求めました。市長は、「事実を確認している。北海道防衛局に要請はしているが、上京した際、防衛省に直接要請したい」と答弁しました。  
また、北朝鮮によるミサイル発射・核実験について、市から強く抗議することを求めました。

総合開発特別委員会 渡辺 満 議員

▼国民健康保険会計  
28年度の剰余金が4億4千万円(27年度1億5千万円)だったことについて、市立病院で国保加入者の受診数が減少している実態を示して質問し、被保険者の実態把握を求めました。  
また、28年度の実績が30年度からの都道府県化のデータになることから、保険税率の見直しについて質問し、「収支バランスを勘案し、イコールに近い税率にしたい」と答弁しました。



▼介護保険会計  
特別養護老人ホームの待機者がいるにも係わらず、68床が空いていることについて質問し、職員不足が要因であることが明らかになりました。この現状に対し、介護保険制度そのものに問題があることを指摘し、国に抜本的な改正を求めることを提案しました。市長は、「ほかの自治体がどんな悩みを持っているかを聞き、国に声をあげていきたい」と答弁しました。

▼企業・特別会計  
28年度の剰余金が4億4千万円(27年度1億5千万円)だったことについて、市立病院で国保加入者の受診数が減少している実態を示して質問し、被保険者の実態把握を求めました。  
また、28年度の実績が30年度からの都道府県化のデータになることから、保険税率の見直しについて質問し、「収支バランスを勘案し、イコールに近い税率にしたい」と答弁しました。

▼企業・特別会計  
28年度の剰余金が4億4千万円(27年度1億5千万円)だったことについて、市立病院で国保加入者の受診数が減少している実態を示して質問し、被保険者の実態把握を求めました。  
また、28年度の実績が30年度からの都道府県化のデータになることから、保険税率の見直しについて質問し、「収支バランスを勘案し、イコールに近い税率にしたい」と答弁しました。

企業・特別会計 小野寺 幸恵 議員

▼国民健康保険会計  
28年度の剰余金が4億4千万円(27年度1億5千万円)だったことについて、市立病院で国保加入者の受診数が減少している実態を示して質問し、被保険者の実態把握を求めました。  
また、28年度の実績が30年度からの都道府県化のデータになることから、保険税率の見直しについて質問し、「収支バランスを勘案し、イコールに近い税率にしたい」と答弁しました。





会派市民

谷川 芳一・桜井 忠

- 1 緊急課題
  - (1) Jアラートに対する体制整備について
  - (2) 冷夏対策(苦小牧地域の農業と漁業)について
  - (3) 苦小牧駒澤大学の経営移管について
- 2 行政課題
  - (1) 印刷物の最低制限価格制度及びオープンカウンターの試行について
  - (2) 高齢者の免許返納について
  - (3) クロスカントリーコースの整備について
- 3 制度導入後の課題
  - (1) 予防接種について
  - (2) B型肝炎ワクチンについて
  - (3) 日本脳炎ワクチンについて
  - (4) マイナンバー制度について
- 4 一般議題
  - (1) 錦岡土木資材置き場について



- 1 決算委員会
  - (1) 一般会計
    - (1) 総務費 移住定住について
    - (2) 環境衛生費 平成28年に定期接種化されたB型肝炎及び日本脳炎のワクチンについて副反応被害の実態について
    - (3) 商工費 とまチョップカードを複数枚持つ違反行為の防止について
  - (2) 市立病院駐車場の緩和対策について
  - (3) 幼稚園児の健康診断について
  - (4) ぶらっとみなど市場の駐車場について
- 2 企業会計
  - (1) 霊園事業 特別会計のあり方について
  - (2) 水道事業 市民サービス還元について
  - (3) 下水道事業
    - (1) 汚泥処理方法について
    - (2) 下水処理施設の民間委託の現況について
    - (3) 排水設備等改造資金の制度利用改善について
  - (4) 市立病院事業
    - (1) 赤字対策について
    - (2) 駐車場緩和対策について

陽春

金澤 俊・宇多 春美

- 一般質問
  - 都市計画マスタープランの見直しについて
 

金澤 俊 議員

今回は、現在見直しが進められている都市計画マスタープランについて市の見解を聞きました。新都市計画マスタープランは30年度からのもので、現段階の見直しの大きなポイントとしては、錦岡、日新町、三光町、沼ノ端の4地域の中で商業施設が集積しているエリアを生活の拠点として位置付け、人口減少に対応できる街づくりを検討している点です。すなわち、買い物をしたり病院に通院したりスポーツをする施設がある地域を生活の拠点として、公共交通機関を利用することにより、車がなくても生活の利便性を保てるまちづくりを想定しているのだと思います。また、今後の人口減にあわせて、可住地面積の縮小に取り組むことについても答弁で示されました。これからのまちづくりの根本となるプランだけに引き続き見直しのプロセスを見守っていきたいと考えています。



- 「イクボス宣言」を企業へ！
 

宇多 春美 議員

企業で働く方の生活基盤がワーク・ライフ・バランスになるのが大事なので企業へのイクボス宣言普及を要望。平成30年1月に外部講師を招き企業向けの研修を実施検討すると答弁がありました。
- 女性復職支援事業について
 

復職をしたい女性にとって、一定の給与保証を受け20名の参加者同士が約4か月の研修や職場実習でスキルを高め、互いに情報を共有し励ましあい復職できることは素晴らしい取り組みであり、これからは子育て中の女性に対しても支援できるように企業とのマッチングを要望しました。
- 特別支援教育について
 

小学校での特別支援は早期からの計画的な支援が重要と考えます。その為には、幼稚園や保育園での幼少の情報共有が大切で、連携が必要です。中学校区の「学校教育力向上エリア会議」に参加される方を点とすれば、点が集まった時にどう繋げていくかが大切であり、その点を強く太い線にして子ども達のために連携することを要望しました。



改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一  
牧田 俊之・首藤 孝治

【野生動物について】近年市街地にも出没している野生動物「エゾシカ」「キタキツネ」について現状を確認するとともに、「エゾシカ」に関しては北海道への捕獲事業の働き掛けをお願いし「キタキツネ」に関しては、ゴルフ場など観光客などが多く訪れる場所への「エサやり防止」の啓発掲示物の配布などを求めました。

【産業の競争力強化について】職場環境改善事業の30年度への取り組みについて確認し「バリヤフリーなど環境整備」「女性の復職」などの支援をしたいと回答がありました。経済産業省「ものづくり補助金」採択実績が他市に比べて低いこと。「地域産業資源」指定品目にハスカップやほっき貝が少ないことを指摘し改善に向けて取り組むむねの回答がありました。

【小中一貫教育について・コミュニティスクールについて】北海道内の先進地浦幌町の取り組みと苦小牧市の取り組みを比較し導入について質問、モデル地区指定などさまざまな



牧田俊之 議員

【中心市街地活性化対策について】エガオビル跡地の今後について議論し、市民が集う憩いの場所やさまざまなイベントの開催などに適した場所が必要であると考え、屋根付き広場の設置を提案しました。また中心市街地に交流人口を増やす目的で東西幹線道路のみ運行する夜間運行バスと「とまチョップポイント」をタクシーに利用できるように提案し、今後検討するとの答弁がありました。

【サテライトキャンパス誘致について】行政機関に専用部署の設置を求め、取り組みを加速させるように要望し、総合政策部と産業経済部の連携で対応するとの答弁がありました。

【公共施設の建替えについて】今後相次ぐ老朽化した公共施設の建替えに合わせ、点在する施設を線で結ぶ



観点を検討を進めている段階と回答がありました。

首藤孝治 議員

【統合型リゾート】平成29年7月にIR推進会議で取りまとめられたIR制度の考え方や枠組み、カジノ規制のあり方や懸念事項の対応、刑法における違法性の阻却などの概要を確認したうえで、IR区域の定義と施設の地理的一体性や区域認定の申請主体、国のギャンブル依存症対策などについて議論するとともに、北海道の動向及び苦小牧市の取り組みについて議論しました。

【勇の原公園予定地の整備】人口減少時代における公園整備のあり方については、検討課題である一方、市内には未整備の公園予定地が多数存在している状況にあり、人口動向を見極めた上で整備することになっていきます。その中で、ウトナイ地区については、住宅建設や宅地造成が進み、今後も人口増加が見込まれるた



越川慶一 議員

め、ウトナイ北1丁目にある勇の原公園予定地の整備計画策定に向け議論を行い、「多くの利用者に活用される公園を目指し、できるだけ早く計画を策定したい」との答弁がありました。

【文教経済委員会】において「平成28年度教育委員会点検・評価報告書」で28年度取り組みんだ教育委員会の42事業の評価のあり方について取り上げ、手段・手法の評価に留まっていた結果も散見され、導き出された結果に対して評価することを求めました。また、東小学校及び苦小牧中学校改築計画(案)について、敷地南側に建設する意図とメリット、習熟度別授業に利用する多目的教室の配置、市内初の小中併設校としてのコミュニティスクール導入の検討、新校舎の地域に開かれた学校づくりの考えについて質しました。



松井雅宏 議員



# スポット



## 日本女性会議2017とまこまい

10月13日(金)から15日(日) 2,000人の参加により、「日本女性会議 2017 とまこまい」が苫小牧市民会館をメイン会場に開催されました。

岩倉博文苫小牧市長、高橋雅子実行委員長、木村司議長が主催者としてあいさつ、高橋はるみ知事が来賓を代表して祝辞を述べられました。



市議会議員全員でお揃いのオレンジ色の法被を着て全国からの参加者をお迎えました。



漫画「義男の空」のモデルになった「とまこまい脳神経外科」の医師 高橋義男さんの特別公演「格差社会を打ち破る」

開会式に引き続き金澤泰子さんの講演で、ダウン症の娘 金澤翔子さんの「共に生きる」という特別揮毫がありました。



渡辺えりさんの記念講演「夢見る力」

次期開催地金沢市へ大会シンボル旗の引継



## 議会日程のお知らせ

● 第13回市議会定例会 ※1回の傍聴につき50ポイント。  
 (本会議のみに限ります) **50**ポイント

月 日	内 容
12月6日(水)	陳情締切り(17:00まで)
12月7日(木)	本会議(報告・一般質問)
12月8日(金)~12日(火)	本会議(一般質問・議案等審議)
12月13日(水)	常任委員会
12月14日(木)	特別委員会
12月15日(金)	議会改革検討会 本会議(議案等審議)

※12月7日から14日の開始時間は10時(予定)からになります。(ただし15日は未定です)

※日程などについては変更になる場合があります。(土・日・祝日は休会) 詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

## 編集後記

議会だよりは、平成24年11月に創刊されて今回が20号目となります。編集委員会を中心に、市民に親しまれる議会だよりを目指してきましたが、昨年11月に初めて、高校生の新聞部の皆さんから意見を聞く機会(フリートーク)を設けました。その前後の議会だよりは、大きく様変わりをしました。そして今回、2回目のフリートークが行われ、また多くの意見、指摘を受けました。市民に親しまれる議会だより作成に向け、益々努力していかなければならないことを痛感いたしました。

とまこまい市議会だより  
編集委員 岩田 薫

## とまこまい市議会だより編集委員会

岩田 典一・神山哲太郎・板谷 良久・大西 厚子・工藤 良一  
岩田 薫・首藤 孝治・桜井 忠・宇多 春美